



2024年3月期（第56期） 決算説明会資料

加賀電子株式会社

< プライム市場 8154 >

2024年5月23日

KAGA ELECTRONICS CO., LTD.

加賀電子の石原でございます。
平素よりご支援、お引き立てを賜り、誠にありがとうございます。
また、本日は弊社の決算概要説明を御視聴頂き、厚く御礼申し上げます。

2024年3月期 決算概要

上席執行役員 管理本部長
石原 康広

それでは、私より、2024年3月期 決算の概要について、ご説明申し上げます。

2024年3月期決算 サマリー

2024年3月期 実績

- **売上高は、前期比653億円 (10.8%) 減収の5,426億円。**
電子部品事業において、スポット需要の消失やグループ会社での大口顧客との取引縮小に加え、**3Q以降に在庫調整の影響**が本格化。
- **営業利益は、前期比64億円 (19.9%) 減益の258億円。**
販管費削減に努めるも、売上高減少に伴う売上総利益減少が主因。
- **当期純利益は、前期比27億円 (11.8%) 減益の203億円。**
投資有価証券売却益 (14億円) や企業買収に伴う負ののれん益 (4億円) 計上。
- **会社計画に対して、売上高は若干未達も、利益面では超過達成。**

2025年3月期 見通し

- **売上前提：**エレクトロニクス関連市場は、車載向けが中心となってけん引する中長期的な成長シナリオは不変も、24/3期下期から本格化した在庫調整は当面継続、**本格的な需要回復は25/3期下期を見込む。**
- **利益前提：**長引く在庫調整に加え、賃上げなど費用増を織り込む。
- **業績予想：**以上を踏まえ、**売上高5,550億円 (2.3%増)、営業利益260億円 (0.6%増)、当期純利益180億円 (11.5%減)。**

株主還元

- 24/3期：期末配当は、前回予想 (2023年5月11日公表) どり1株当たり110円を**実施予定**。中間配当と合わせた**年間配当は、前期同額の1株当たり220円。**
- 25/3期：最終利益減益予想も、**1株当たり220円を維持。**



2024年3月期の実績です。

売上高は、前期比653億円減収の5,426億円、

営業利益は、前期比64億円減益の258億円となりました。

主力の電子部品事業におけるスポット需要の消失、3Q以降に本格化した顧客在庫調整の影響が減収減益の主な理由となります。

販管費の抑制・削減に努めましたが、売上高減少に伴う売上総利益の減少により、営業利益は対前期比で減益となりました。

当期純利益につきましては、投資有価証券の売却益、企業買収に伴う負ののれん発生益など特別利益の計上もあり、前期比27億円減益の203億円となりました。

一方、昨年5月に公表しました社内計画に対しては、売上高ではわずかながら未達でありましたが、営業利益・経常利益・当期純利益については、いずれも超過達成で着地しました。

続いて2025年3月期の見通しです。

当社の属するエレクトロニクス関連市場においては、車載向けが中心となってけん引する中長期的な成長シナリオは変わりませんが、2024年3月期後半から本格化した在庫調整は当面継続するものと捉え、本格的な需要回復は2025年3月期の後半を見込んでおります。

このような経営環境に加え、先般実施しました賃上げなどによる費用増を織り込み、

2025年3月期の見通しについては、

売上高5,550億円、営業利益260億円、当期純利益180億円といたしました。

株主還元について、ご説明いたします。

2024年3月期の期末配当は、昨年5月に公表いたしました通り、

1株あたり110円を予定しております。

中間配当と合わせた年間配当は、前期と同額の1株あたり220円となります。

2025年3月期の配当については、最終利益は減益予想ではありますが、

1株あたり220円を維持する方針です。

2024年3月期 業績ハイライト

(単位：百万円)

	2023/3期 実績	2024/3期 実績	前年比	2024/3期 業績予想 (2023年5月11日公表)	予想比
売上高	608,064	542,697	△10.8%	550,000	△1.3%
売上総利益	78,514 <i>12.9%</i>	70,452 <i>13.0%</i>	△10.3%	—	—
販売費及び一般管理費	46,265 <i>7.6%</i>	44,607 <i>8.2%</i>	△3.6%	—	—
営業利益	32,249 <i>5.3%</i>	25,845 <i>4.8%</i>	△19.9%	25,000 <i>4.5%</i>	3.4%
経常利益	32,739 <i>5.4%</i>	25,976 <i>4.8%</i>	△20.7%	25,000 <i>4.5%</i>	3.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	23,070 <i>3.8%</i>	20,345 <i>3.7%</i>	△11.8%	18,000 <i>3.3%</i>	13.0%
EPS (1株当たり当期純利益、円)	878.65	774.61	—	685.42	—
ROE	19.6%	14.5%	△5.1pt	13.3%	1.2pt
為替レート 円/US\$	135.47	144.62	—	135.00	—

(注)：1. 為替による影響額は、売上高が12,539百万円、営業利益が420百万円です。
2. 「×. ×%」は、売上高対比の率を表します。



3

次ページの業績ハイライトは、ただいまご説明した通りであります。
 当期におけるEPS(一株当たり当期純利益)は、774円61銭となりました。
 ROEは14.5%となり、前期比で5.1ポイント低下しております。獲得利益の大半が純
 資産に積み増しされ、財務の安定性は高まる一方で、資本効率の面では、
 今後、更なる改善に向けた取り組みの必要性を感じております。
 また、当期における期中平均為替レートは、ドル・円で144円62銭となっており、
 前期比、通期業績予想の想定レート135円と比べて、9円程度円安に振れております。
 為替の変動による前期比の影響額は、
 売上高で約125億円の増収、営業利益では約4億20百万円の増益影響となります。

2024年3月期 セグメント別業績

(単位：百万円)

		2023/3期 実績	2024/3期 実績	前年比	2024/3期 業績予想 (2023年5月11日公表)	予想比
電子部品	売上高	539,342	472,583	△12.4%	471,500	0.2%
	セグメント利益	28,314 <i>5.2%</i>	20,887 <i>4.4%</i>	△26.2%	20,700 <i>4.4%</i>	0.9%
情報機器	売上高	43,680	44,305	1.4%	45,000	△1.5%
	セグメント利益	2,449 <i>5.6%</i>	2,924 <i>6.6%</i>	19.4%	2,500 <i>5.6%</i>	17.0%
ソフトウェア	売上高	2,998	2,567	△14.4%	4,500	△42.9%
	セグメント利益	286 <i>9.6%</i>	370 <i>14.4%</i>	29.0%	300 <i>6.7%</i>	23.4%
その他	売上高	22,044	23,241	5.4%	29,000	△19.9%
	セグメント利益	1,101 <i>5.0%</i>	1,555 <i>6.7%</i>	41.2%	1,500 <i>5.2%</i>	3.7%
合計	売上高	608,064	542,697	△10.8%	550,000	△1.3%
	セグメント利益	32,249 <i>5.3%</i>	25,845 <i>4.8%</i>	△19.9%	25,000 <i>4.5%</i>	3.4%

(注)：1. セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。
2. 「*x.x%*」は利益率を表します。



4

セグメント別の業績です。

主力の電子部品事業におきましては、部品販売では半導体・電子部品の供給不足緩和により、前年度まで収益に寄与したスポット需要が消失したことや、エクセルの特定大口顧客向け取引の縮小に加え、顧客における在庫調整の影響が3Q以降に本格化したことにより、対前期比では減収減益となりました。EMSビジネスでは車載向けは半導体・電子部品の需給改善により伸長するも、医療機器・産業機器、空調向けは主要顧客の在庫調整の影響もあり、同様に対前期比では減収減益となりました。

情報機器事業におきましては、教育機関向けパソコン販売、セキュリティソフトやPC周辺機器等の販売が堅調に推移、またLED設置ビジネスでは前年度から本格展開している大口案件が寄与し、対前期比で増収増益となりました。セグメント利益については、利益額・利益率ともに前期実績、社内計画の数値を上回る着地となりました。

ソフトウェア事業では、売上高は前期比で減収となりましたが、セグメント利益では増益、情報機器事業と同様、利益額・利益率ともに前期実績、社内計画の数値を上回りました。

その他事業については、売上高は対前期比で増収、セグメント利益は前期比・社内計画比でともに上回る着地となりました。

セグメント利益率については、すべての事業セグメントにおいて、社内計画の数値を上回り、全体では通期計画4.5%に対して4.8%の営業利益率で着地しております。

7ページ～8ページにも、事業セグメント別の記載がありますので、併せてご覧ください。

2024年3月期 会社別業績

(単位：百万円)

		2022/3期 実績		2023/3期 実績		2024/3期 実績		前年比	前々年比
加賀電子	売上高	281,075		348,034		315,404		△9.4%	12.2%
	売上総利益	41,767	14.9%	53,123	15.3%	47,373	15.0%	△10.8%	13.4%
	営業利益	15,461	5.5%	21,899	6.3%	19,580	6.2%	△10.6%	26.6%
加賀FEI	売上高	149,455		199,548		190,684		△4.4%	27.6%
	売上総利益	14,690	9.8%	20,913	10.5%	19,218	10.1%	△8.1%	30.8%
	営業利益	3,654	2.4%	8,103	4.1%	4,413	2.3%	△45.5%	20.8%
エクセル	売上高	65,296		60,481		36,608		△39.5%	△43.9%
	売上総利益	4,247	6.5%	4,443	7.3%	3,834	10.5%	△13.7%	△9.7%
	営業利益	1,937	3.0%	2,072	3.4%	1,653	4.5%	△20.2%	△14.6%
合計	売上高	495,827		608,064		542,697		△10.8%	9.5%
	売上総利益	60,547	12.2%	78,514	12.9%	70,452	13.0%	△10.3%	16.4%
	営業利益	20,915	4.2%	32,249	5.3%	25,845	4.8%	△19.9%	23.6%

(注)：1. 各社の売上総利益および営業利益は、3社間での連結調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値を記載しております。
2. 「x.x%」は利益率を表します。



5

続いて会社別の業績について、ご説明いたします。

従来からの加賀電子グループにおきましては、スポット需要消失の影響が大きく対前期比で減収減益となっておりますが、売上総利益率・営業利益率、いずれも前期実績と同水準を維持しており、収益力自体は維持出来ていることが確認出来ます。

加賀FEIグループにおいては、2024年3月期から開始したグループ内本社賦課費の計上や、特定取引先に対する貸し倒れ引当繰り入れなどにより、一見すると営業利益が大きく低下しているように感じられますが、スポット需要消失が売上高・売上総利益に与える影響は、それほど大きくはなく、高収益体質を確実に身に付けてきたことが見て取れます。

エクセルグループにおいては、大口顧客向け売上の減少はあったものの、販売ミックス良化により収益力を高め、利益面では売上高ほどの低下は見られず、売上総利益率・営業利益率ともに大きく向上させております。

全体的に対前期比では減収減益ではありますが、在庫の需給ひっ迫に伴うスポット需要など一過性の要因なども加味して大きな流れの中で捉えれば、売上総利益率はわずかながらも前期の数値を上回っており、持続的に「稼ぐ力」を維持し続けていることを感じ取って頂けるものと思えます。

6ページ目のグラフも併せてご覧ください。

9ページ～14ページには、直近3か月間のクォーター情報がございますので、併せてご覧ください。

2024年3月期 M&Aの影響

(単位：百万円)

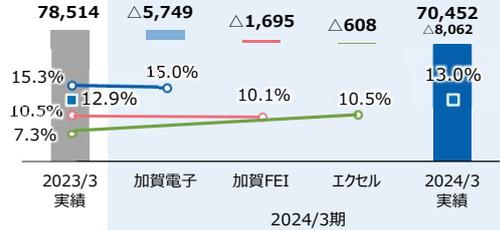
売上高

加賀電子、加賀FEIは、スポット需要消失等により減収。
 エクセルは、大口顧客向け売上が減少。



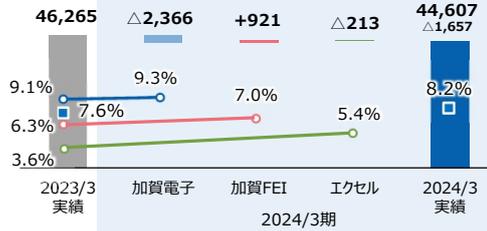
売上総利益 / 売上総利益率

3社ともに、売上高減少に伴い減益。
 エクセルは、販売ミックス良化もあり利益率向上。



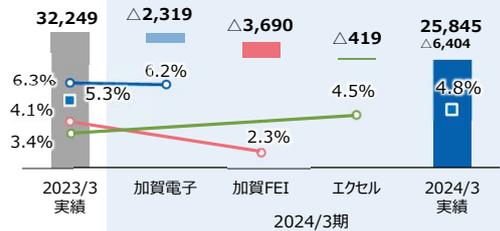
販管費 / 販管費率

加賀電子、エクセルは、販管費削減に努め減少。
 加賀FEIは、本社賦課費、貸倒引当繰り入れ等により費用増。



営業利益 / 営業利益率

3社ともに減益。
 エクセルは、販売ミックス良化により利益率は向上。



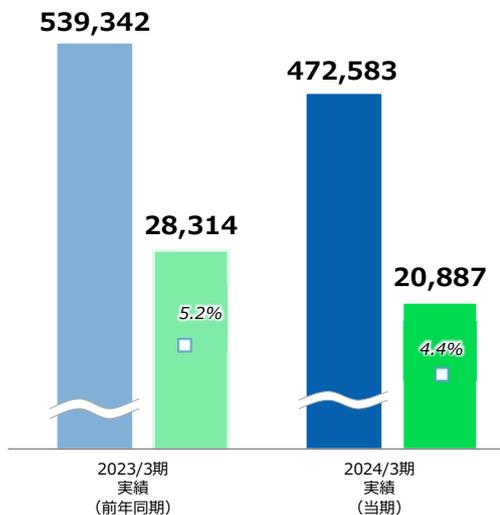
(注)：売上総利益および営業利益については、3社間での連結調整前の数値を記載しております。6
 なお、連結調整額は売上総利益は25百万円、営業利益は198百万円です。

2024年3月期：電子部品事業

売上高・セグメント利益

(単位：百万円)

■ / ■ 売上高
■ / ■ セグメント利益



前年比

- 売上高 ▶ Δ 66,759百万円 **12.4%減**
- セグメント利益 ▶ Δ 7,427百万円 **26.3%減**

・ 部品販売ビジネスは、半導体・電子部品の供給不足緩和により、前年度まで収益寄与したスポット需要の消失、エクセルの特定大口顧客向け取引縮小に加え、3Q以降の在庫調整局面本格化の影響もあり、減収減益。

・ 加賀FEIにおけるSoC (System-on-Chip) 製品の販売は引き続き堅調。

・ EMSビジネスは、車載向けは半導体・電子部品の需給改善により伸長するも、医療機器、産業機器、空調向けは主要顧客での在庫調整の影響もあり、減収減益。



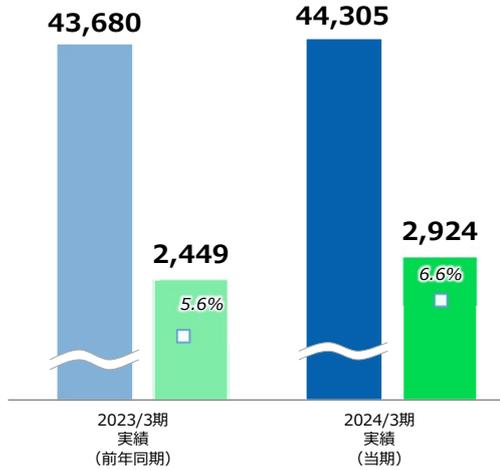
(注)：「x.x%」は利益率を表します。

2024年3月期：情報機器事業

売上高・セグメント利益

(単位：百万円)

■/■ 売上高
■/■ セグメント利益



前年比

- 売上高 ▶ **+625百万円 1.4%増**
- セグメント利益 ▶ **+474百万円 19.4%増**

・量販店向けパソコン販売は需要低迷により苦戦するも、教育機関向けパソコン販売は、アカウント数も拡大し、順調に推移。

・セキュリティソフトやPC周辺製品等の販売も堅調。

・LED設置ビジネスは、前年度から本格展開している大口案件が寄与。



(注)：「x.x%」は利益率を表します。

2024年3月期 業績ハイライト（直近3カ月）

（単位：百万円）

	2023/3期 4Q実績	2024/3期 3Q実績	2024/3期 4Q実績	前年同期比	直前期比
売上高	155,843	131,413	136,239	△12.6%	3.7%
売上総利益	18,630 12.0%	17,091 13.0%	18,200 13.4%	△2.3%	6.5%
販売費及び一般管理費	12,387 7.9%	10,475 8.0%	12,846 9.4%	3.7%	22.6%
営業利益	6,242 4.0%	6,615 5.0%	5,353 3.9%	△14.2%	△19.1%
経常利益	6,121 3.9%	6,365 4.8%	5,664 4.2%	△7.5%	△11.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,017 2.6%	4,587 3.5%	4,353 3.2%	8.4%	△5.1%
EPS (1株当たり四半期純利益、円)	152.99 -	174.65 -	165.73 -	-	-

(注)：1. 為替による影響額は、売上高が約2,842百万円、営業利益が約90百万円です。
2. 「×.×%」は、売上高対比の率を表します。

2024年3月期 セグメント別業績（直近3カ月）

（単位：百万円）

		2023/3期 4Q実績	2024/3期 3Q実績	2024/3期 4Q実績	前年同期比	直前期比
電子部品	売上高	133,733	115,229	114,788	△14.2%	△0.4%
	セグメント利益	4,972 3.7%	5,363 4.7%	3,738 3.3%	△24.8%	△30.3%
情報機器	売上高	14,540	9,551	14,038	△3.4%	47.0%
	セグメント利益	949 6.5%	641 6.7%	1,002 7.1%	5.6%	56.2%
ソフトウェア	売上高	922	591	750	△18.6%	27.0%
	セグメント利益	151 16.4%	149 25.3%	107 14.3%	△29.1%	△28.2%
その他	売上高	6,647	6,041	6,660	0.2%	10.2%
	セグメント利益	129 2.0%	436 7.2%	495 7.4%	281.9%	13.6%
合計	売上高	155,843	131,413	136,239	△12.6%	3.7%
	セグメント利益	6,242 4.0%	6,615 5.0%	5,353 3.9%	△14.2%	△19.1%

（注）：1. セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。
2. 「×.×%」は利益率を表します。

2024年3月期 会社別業績（直近3カ月）

（単位：百万円）

		2023/3期 4Q実績	2024/3期 3Q実績	2024/3期 4Q実績	前年同期比	直前期比
加賀電子	売上高	93,560	78,517	80,478	△14.0%	2.5%
	売上総利益	12,901 <i>13.8%</i>	11,556 <i>14.7%</i>	12,165 <i>15.1%</i>	△5.7%	5.3%
	営業利益	4,320 <i>4.6%</i>	5,089 <i>6.5%</i>	3,922 <i>4.9%</i>	△9.2%	△22.9%
加賀FEI	売上高	46,255	44,360	47,556	2.8%	7.2%
	売上総利益	4,300 <i>9.3%</i>	4,510 <i>10.2%</i>	5,075 <i>10.7%</i>	18.0%	12.5%
	営業利益	1,093 <i>2.4%</i>	1,009 <i>2.3%</i>	980 <i>2.1%</i>	△10.3%	△2.9%
エクセル	売上高	16,027	8,535	8,203	△48.8%	△3.9%
	売上総利益	1,328 <i>8.3%</i>	993 <i>11.6%</i>	915 <i>11.2%</i>	△31.0%	△7.8%
	営業利益	695 <i>4.3%</i>	455 <i>5.3%</i>	332 <i>4.1%</i>	△52.1%	△26.9%
合計	売上高	155,843	131,413	136,239	△12.6%	3.7%
	売上総利益	18,630 <i>12.0%</i>	17,091 <i>13.0%</i>	18,200 <i>13.4%</i>	△2.3%	6.5%
	営業利益	6,242 <i>4.0%</i>	6,615 <i>5.0%</i>	5,353 <i>3.9%</i>	△14.2%	△19.1%

（注）：1. 各社の売上総利益および営業利益は、3社間での連結調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値を記載しております。
2. 「x.x%」は利益率を表します。

2024年3月期 M&Aの影響（直近3カ月）

（単位：百万円）

売上高

加賀電子、エクセルは、在庫調整局面の進行により減収。
加賀FEIは増収を確保。



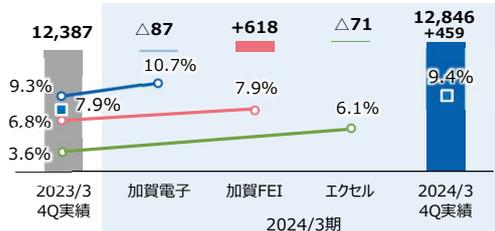
売上総利益 / 売上総利益率

加賀電子、エクセルは、売上高減少に伴い減益。
加賀FEIは増益。



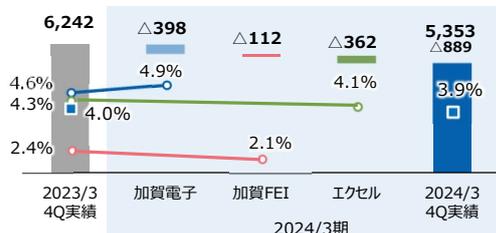
販管費 / 販管費率

加賀電子、エクセルは、売上総利益減少に伴い販管費抑制。
加賀FEIは、本社賦課費等により増加。



営業利益 / 営業利益率

3社とも減益となるも、連結ベースの営業利益率は前期並み。



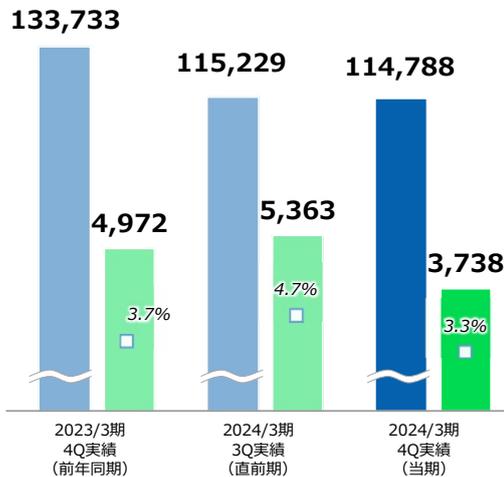
（注）：売上総利益および営業利益については、3社間での連結調整前の数値を記載しております。12
なお、連結調整額は売上総利益は43百万円、営業利益は117百万円です。

2024年3月期：電子部品事業（直近3カ月）

売上高・セグメント利益

(単位：百万円)

■ 売上高
■ セグメント利益



前年同期比

- 売上高 ▶ Δ 18,944百万円 **14.2%減**
- セグメント利益 ▶ Δ 1,233百万円 **24.8%減**

直前期比

- 売上高 ▶ Δ 440百万円 **0.4%減**
- セグメント利益 ▶ Δ 1,624百万円 **30.3%減**



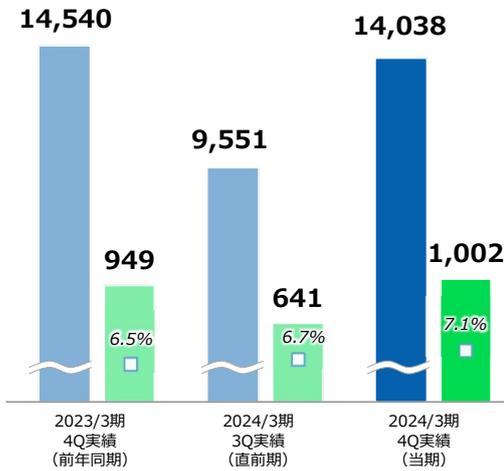
(注)：「x.x%」は利益率を表します。

2024年3月期：情報機器事業（直近3カ月）

売上高・セグメント利益

(単位：百万円)

■ 売上高
■ セグメント利益



前年同期比

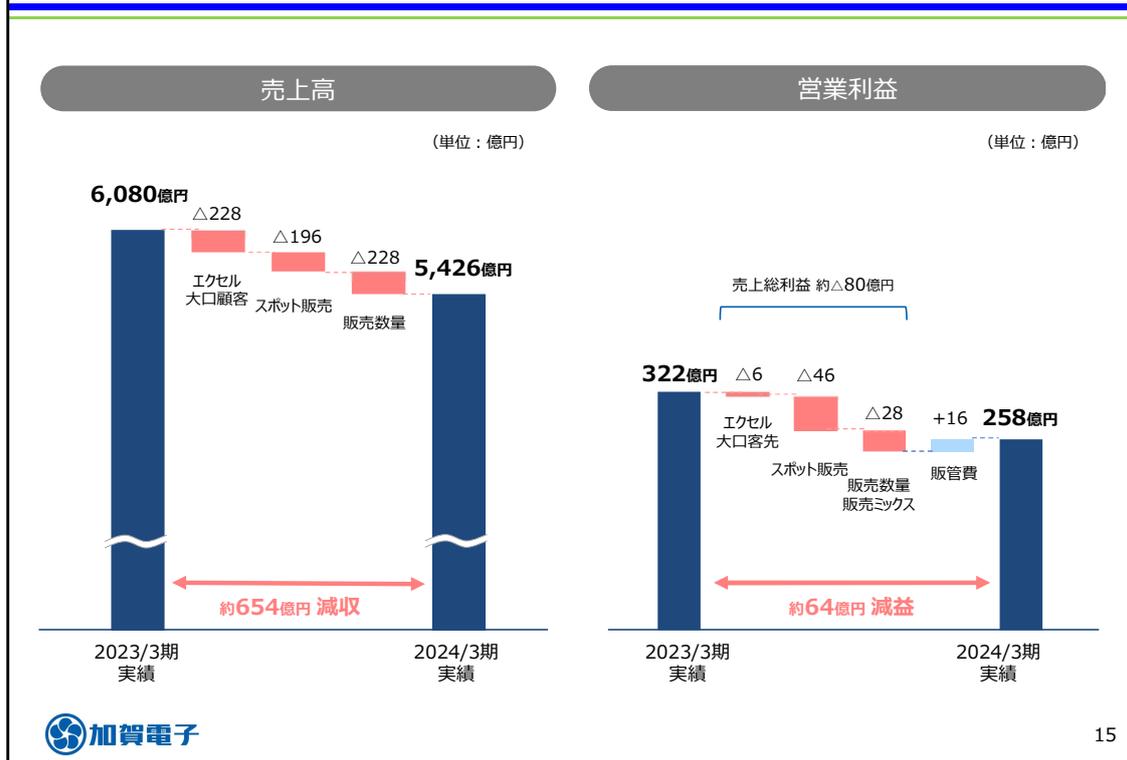
● 売上高 ▶ Δ 501百万円 3.4%減
● セグメント利益 ▶ +52百万円 5.6%増

直前期比

● 売上高 ▶ +4,487百万円 47.0%増
● セグメント利益 ▶ +360百万円 56.2%増



(注)：「x.x%」は利益率を表します。



売上高・営業利益における、対前期比の変動要因について、ご説明いたします。
 エクセルの特定大口顧客向け取引の縮小により228億円の減収と6億円の減益、
 電子部品事業におけるスポット需要の消失により196億円の減収と46億円の減益、
 顧客在庫調整の影響に伴う販売数量の減少や販売ミックスの変動により228億円の
 減収と28億円の減益、以上3つの要因により、
 対前期比で売上高は654億円の減収、売上総利益で80億円の減益となりました。
 このような経営環境の下、販管費の節減・抑制に努め16億円の費用削減を行いました
 ましたが、営業利益では対前期比で64億円の減益という着地になりました。
 一方、社内計画比では、売上高は計画数字にわずかながら未達でありましたが、
 営業利益については250億円の計画数字に対し8億円の上振れ達成となりました。

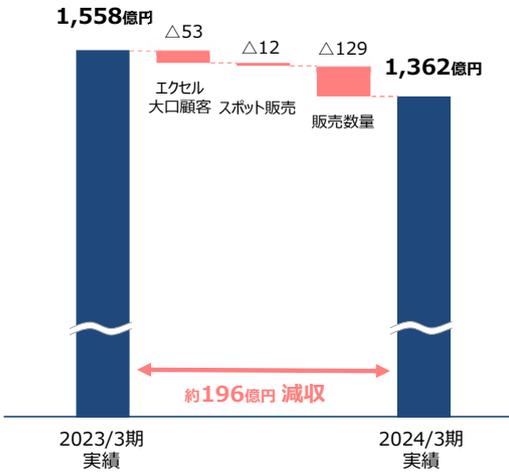
16ページには直近3か月間のクォーター情報がございますので、併せてご覧ください。

2024年3月期 売上高/営業利益 変動要因 (直近3ヵ月)

参考

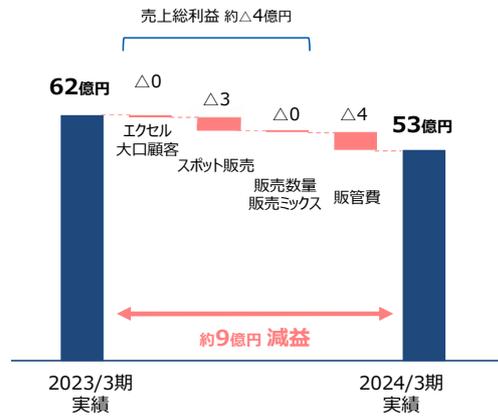
売上高 (直近3ヵ月)

(単位：億円)

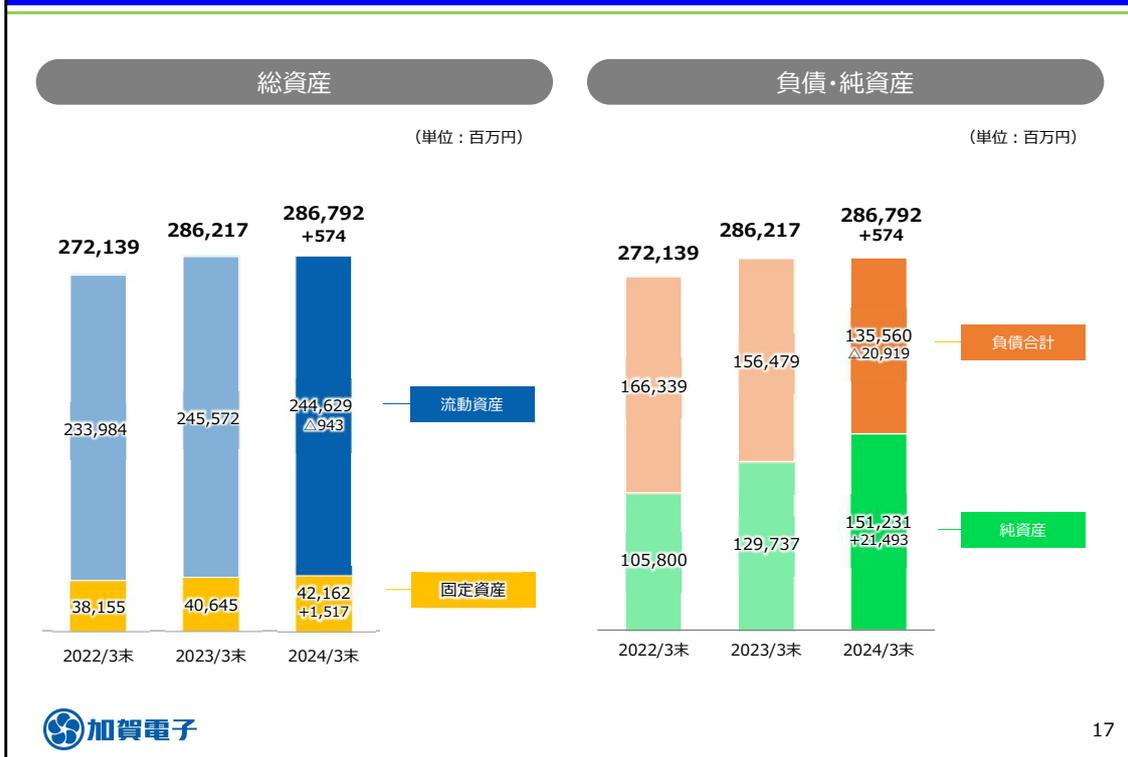


営業利益 (直近3ヵ月)

(単位：億円)



貸借対照表主要項目



17

ここからは、貸借対照表の状況について、ご説明いたします。

始めに資産の部となります。

流動資産は、売掛債権・棚卸資産の減少などにより対前期末比で9億円減少し2,446億円に、固定資産は、メキシコ新工場への設備投資などにより対前期末比で15億円増加した421億円となり、総資産合計では、対前期末比で5億円増加した2,867億円となりました。

負債の部は、買掛債務の減少、借入金の返済などにより対前期末比で209億円減少し

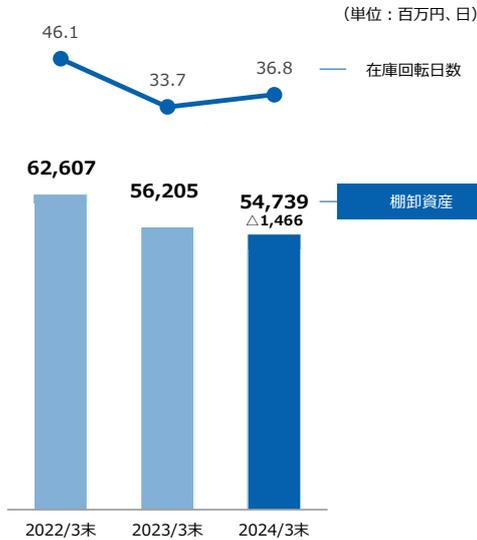
1,355億円に、純資産の部は、利益剰余金の積み増しなどにより対前期末比で214億円増加した1,512億円となりました。

流動負債の大幅な減少により流動比率は233.4%に、

自己資本比率は前期末の45.3%から7.3ポイント改善した52.6%となり、財務の安定性は向上しております。

貸借対照表主要項目

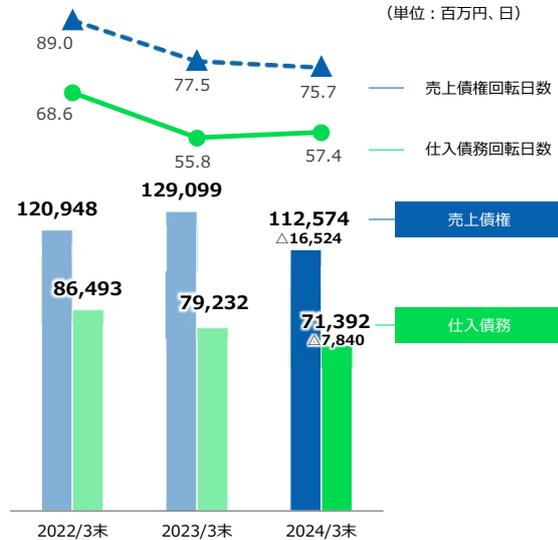
棚卸資産



(注)：在庫回転日数 = 棚卸資産 ÷ 売上高 × 365 (日)



売上債権・仕入債務



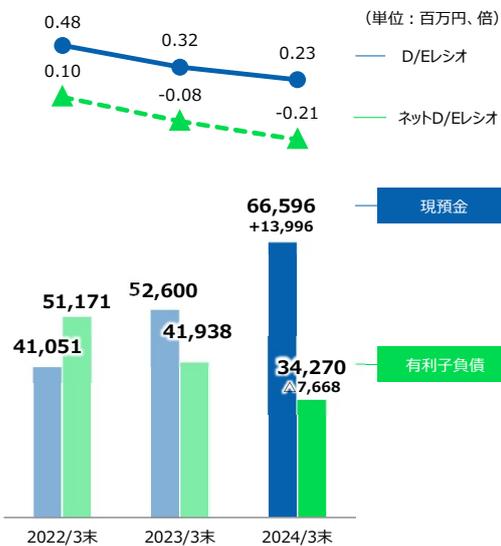
(注)：1. 受取手形及び売掛金については、電子記録債権を含めた金額となっております。
 2. 支払手形及び買掛金については、電子記録債務を含めた金額となっております。
 3. 売上債権回転日数 = 受取手形及び売掛金 ÷ 売上高 × 365 (日)
 4. 仕入債務回転日数 = 支払手形及び買掛金 ÷ 仕入高 × 365 (日)

棚卸資産は、主要顧客の在庫調整などの影響の中、仕入・調達の調整などに努力した結果、対前期末比で14億円減少した547億円となりました。

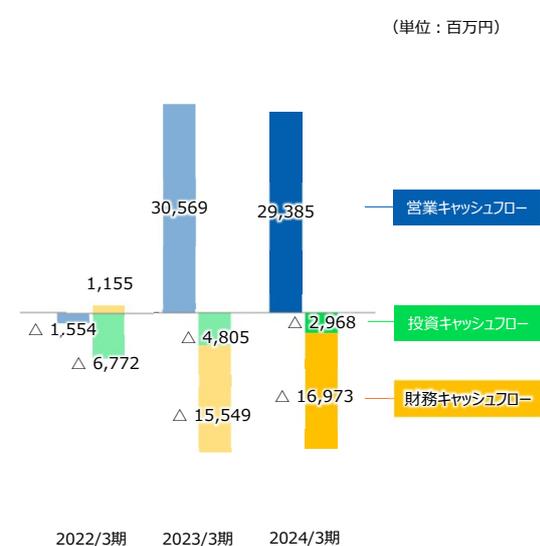
一方、在庫回転日数は売上高の減少もあり36.8日と3日ほど悪化しておりますので、引き続き在庫削減の取り組みを強化・継続してまいります。

貸借対照表主要項目/キャッシュフロー

現預金・有利子負債



キャッシュフロー

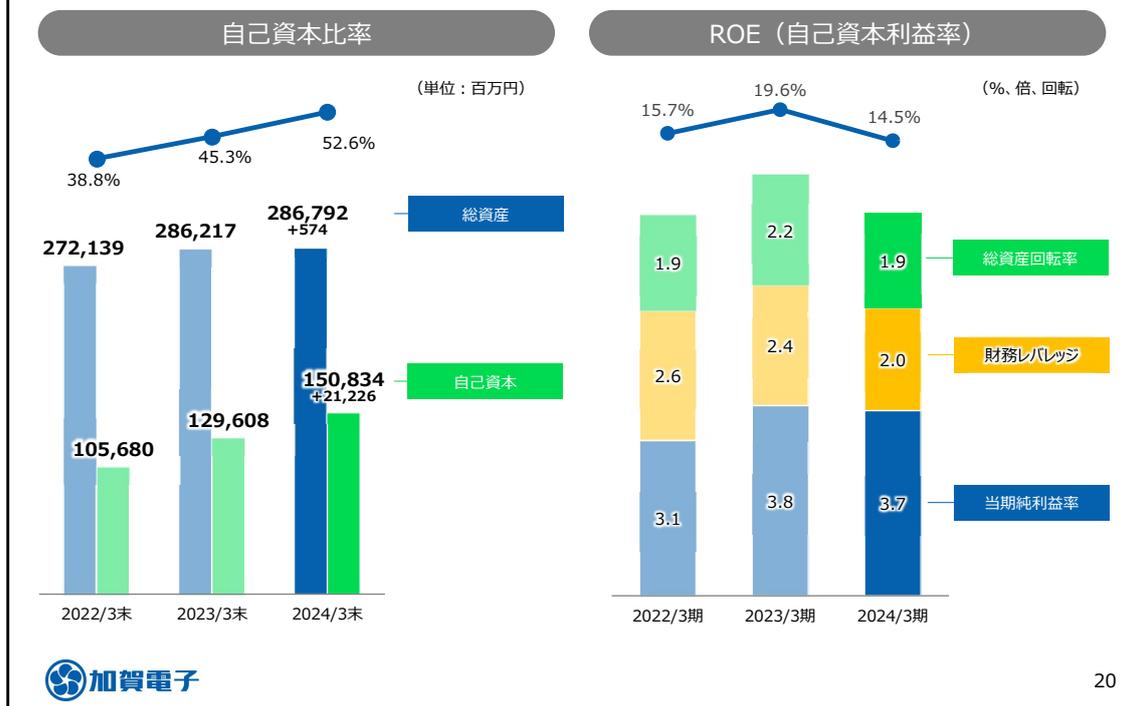


(注): 1. D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 自己資本
 2. ネットD/Eレシオ = (有利子負債 - 現預金) ÷ 自己資本



有利子負債は借入金の返済により対前期末比で76億円減少した342億円、利益獲得による自己資本の積み増しによりDEレシオは0.23倍と低く抑えられています。前期とほぼ同水準となる293億円の営業キャッシュフロー収入から現預金残高は対前期末比で139億円増加した665億円となり、現預金の積み増しによって、ネットDEレシオは-0.21倍と前期末に引き続きマイナス値でさらに低く抑えられており、次なる成長投資に向け、財務基盤の安定性・体質強化はますます盤石となっております。

経営指標：安定性・効率性



20

自己資本の増加により自己資本比率は52.6%と財務の安定性は高まる一方で、ROEは14.5%と資本効率はやや低下しております。

引き続き、より一層収益力を高めるとともに、創出した資金の活用について、M&Aを含む事業拡大投資、成長に向けた生産設備などの事業基盤や人的資本への投資、株主還元など、多角的な取り組みを実施し、経営目標としている「ROE 安定的に10%以上」の持続的な維持・向上を目指します。

2025年3月期業績予想

2025年3月期 通期業績予想

(単位：百万円)

	2024/3期 実績	2025/3期 予想	前年比
売上高	542,697	555,000	2.3%
営業利益	25,845 4.8%	26,000 4.7%	0.6%
経常利益	25,976 4.8%	26,000 4.7%	0.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	20,345 3.7%	18,000 3.2%	△11.5%
EPS (1株当たり当期純利益、円)	774.61 -	685.26 -	-
ROE	14.5% -	11.5% -	△3.0pt
年間配当金 (円)	220.00	220.00	-

(注)：「x.x%」は利益率を表します。



22

2025年3月期 業績予想について、ご説明いたします。

先ほど申し上げました通り、2024年3月期後半から本格化した顧客在庫調整は当面継続し、本格的な需要回復は2025年3月期後半を見込んでおります。長引く在庫調整に加え、賃上げなど費用増を織り込み、2025年3月期の業績予想につきましては、ほぼ前期並みの

売上高 5,550億円、営業利益・経常利益 260億円、当期純利益 180億円と、させて頂きました。

なお、以上の業績予想を踏まえた2025年3月期のEPS(1株あたり当期純利益)は685円26銭、期末時におけるROEは11.5%を見込んでおります。

当期純利益は減益予想ではありますが、年間配当金につきましては、前年と同額の220円を予定しております。

2025年3月 セグメント別業績予想

(単位：百万円)

		2024/3期 実績	2025/3期 予想	前年比
電子部品	売上高	472,583	482,500	2.1%
	セグメント利益	20,887 4.4%	20,900 4.3%	0.1%
情報機器	売上高	44,305	45,000	1.6%
	セグメント利益	2,924 6.6%	3,000 6.7%	2.6%
ソフトウェア	売上高	2,567	3,000	16.8%
	セグメント利益	370 14.4%	400 13.3%	8.1%
その他	売上高	23,241	24,500	5.4%
	セグメント利益	1,555 6.7%	1,700 6.9%	9.3%
合計	売上高	542,697	555,000	2.3%
	セグメント利益	25,845 4.8%	26,000 4.7%	0.6%

(注)：1. セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。
2. 「x.x%」は利益率を表します。



セグメント別業績予想につきましては、各事業とも前期並みの水準を見込んでおります。

2025年3月期 営業利益変動要因

営業利益

(単位：億円)

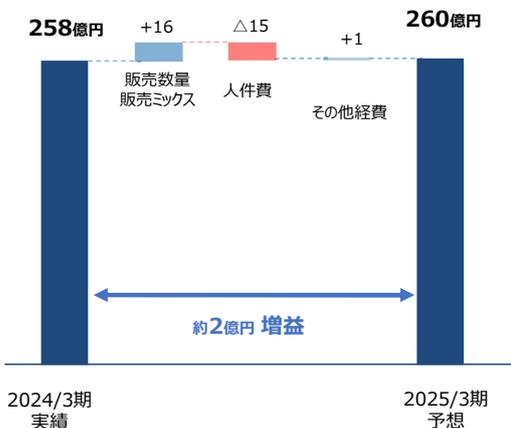
【2025/3期に織り込んだ固定費増加要因】

(1) 賃上げ 10億円

- ・加賀電子本体：一律25,000円(月額)引上げ
(平均7.8%賃上げ)
- ・グループ会社：2.0%～7.5%賃上げ

(2) 新卒採用、定期昇給など 5億円

※当該影響を除き、実質+16億円(+6.4%)
の増益予想

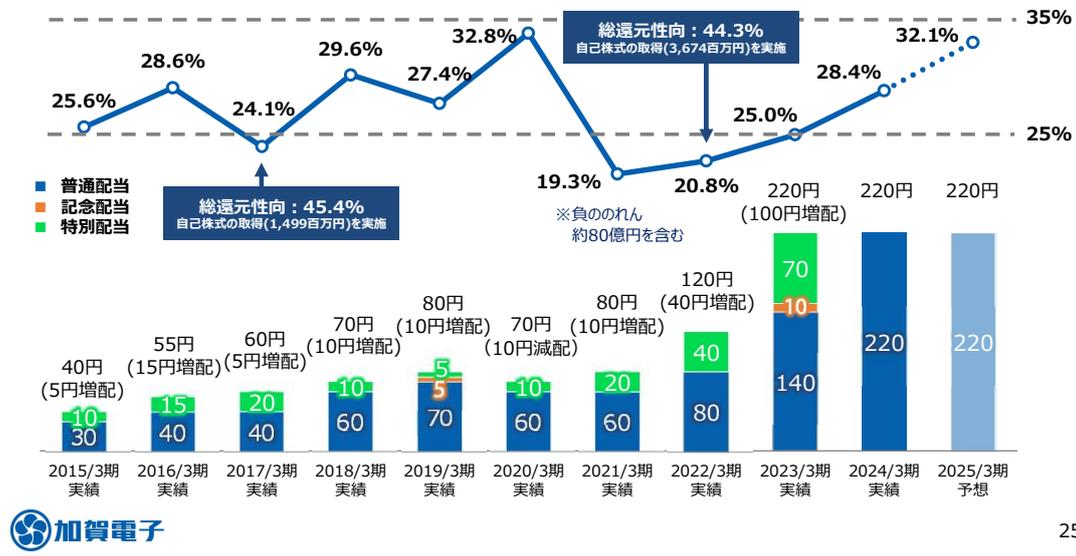


営業利益における、対前年比較による変動要因について、ご説明いたします。
 2025年3月期より、グループ全体で約10億円の賃上げを実施いたしました。
 加賀電子においては、一律で月額25,000円の賃金引き上げを行っております。
 平均して7.8%の賃上げ率となります。
 これに、新卒採用・定期昇給などの費用増5億円を加え、人件費で15億円の費用増を
 織り込みました。
 増益要因として、販売数量増加・販売ミックスの良化により16億円の売上総利益の増
 益、人件費以外の経費抑制により1億円の増益を見込み、営業利益で約2億円の増益
 を見込んでおります。

配当推移(株主還元)

利益配分に関する基本方針

- 連結配当性向25～35%を確保しつつ、安定的な配当を実施する。
- 将来成長に資する事業投資・設備投資、M&A等に活用する。
- 自己株式の取得は、資本効率・株価等を勘案し、適切に判断する。



25

株主還元、配当について、ご説明いたします。

当社は、

- ・連結配当性向25～35%を確保しつつ、安定的な配当の実施
- ・将来成長に資する事業投資・設備投資、M&A等への活用
- ・自己株式の取得は、資本効率・株価等を勘案し、適切に判断する

以上の3点を、利益配分に関する基本方針として掲げております。

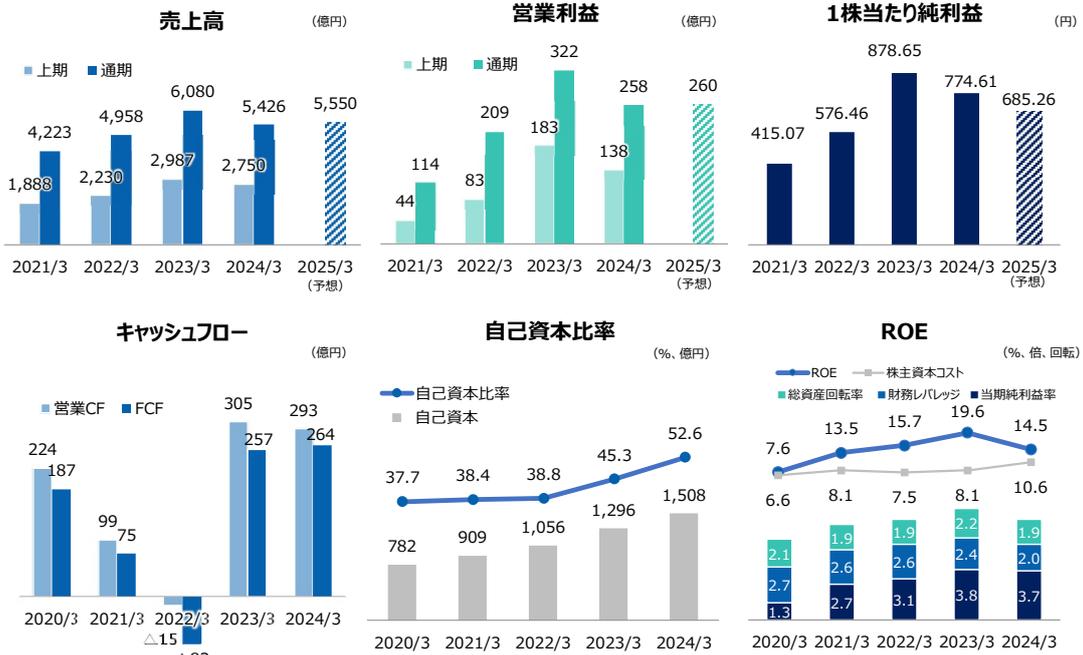
2024年3月期につきましては、前期比で減収減益であります。年間配当は前年と同額の220円で実施させて頂く予定です。これにより配当性向は28.4%となります。また、2025年3月期においても、最終利益は減益予想ではありますが、年間配当は前年同額の220円を予定しております。これにより2025年3月期の配当性向は32.1%となる予定です。

また当社は、本年1月に「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について、取り組み方針を公表しております。

今後につきましては、その内容に則り、更なる収益力の強化・経営基盤の強化に取り組み、配当以外の利益配分についても、適宜、環境や状況を勘案の上、検討し、適切に取り組んでまいります。

28ページ以降には参考資料として、中期経営計画に沿ったセグメントによる任意開示の情報や、3か月毎のセグメント別や地域別売上高のグラフ、為替レート・為替感応度の情報なども載せてございますので、併せてご覧いただければと思います。

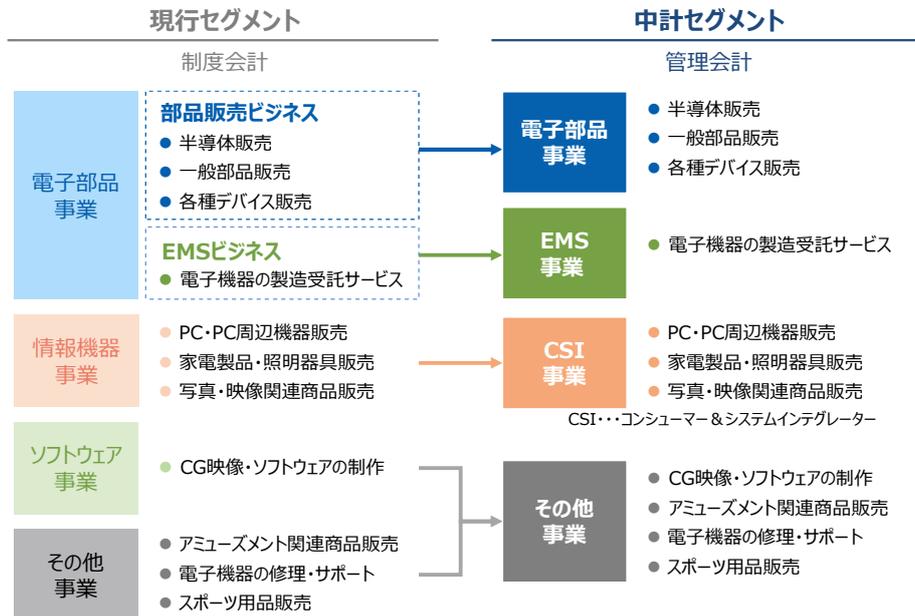
直近5年の業績トレンド



參考資料

中期経営計画に伴うセグメント開示に関して

制度会計としての現行セグメントでの継続開示と併せ、新中計に沿ったセグメントによる任意開示を行う



2024年3月期 中計セグメント別業績

(単位：百万円)

		2022/3期 実績	2023/3期 実績	2024/3期 実績	前年比	前々年比
電子部品	売上高	325,830	398,783	360,743	△9.5%	10.7%
	セグメント利益	11,094 3.4%	19,475 4.9%	14,228 3.9%	△26.9%	28.2%
EMS	売上高	117,828	149,862	120,478	△19.6%	2.2%
	セグメント利益	7,356 6.2%	9,563 6.4%	7,375 6.1%	△22.9%	0.3%
CSI	売上高	39,616	43,680	44,305	1.4%	11.8%
	セグメント利益	2,085 5.3%	2,449 5.6%	2,924 6.6%	19.4%	40.2%
その他	売上高	12,552	15,739	17,170	9.1%	36.8%
	セグメント利益	255 2.0%	663 4.2%	1,208 7.0%	82.1%	372.4%
合計	売上高	495,827	608,064	542,697	△10.8%	9.5%
	セグメント利益	20,915 4.2%	32,249 5.3%	25,845 4.8%	△19.9%	23.6%

(注)：1. セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。
2. 「x.x%」は利益率を表します。

2024年3月期 中計セグメント別業績（直近3カ月）

（単位：百万円）

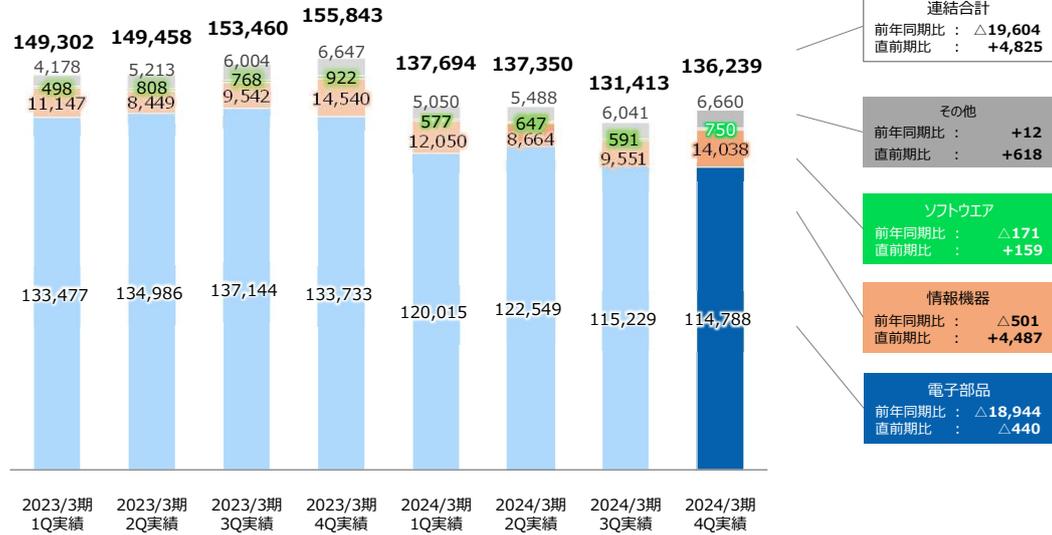
		2023/3期 4Q実績 (前年同期)	2024/3期 3Q実績 (直前期)	2024/3期 4Q実績 (当期)	前年同期比	直前期比
電子部品	売上高	95,569	86,668	89,705	△6.1%	3.5%
	セグメント利益	3,573 3.7%	3,753 4.3%	2,472 2.8%	△30.8%	△34.1%
EMS	売上高	41,251	31,000	27,355	△33.7%	△11.8%
	セグメント利益	1,637 4.0%	1,798 5.8%	1,433 5.2%	△12.4%	△20.3%
CSI	売上高	14,540	9,551	14,038	△3.4%	47.0%
	セグメント利益	949 6.5%	641 6.7%	1,002 7.1%	5.6%	56.2%
その他	売上高	4,480	4,193	5,138	14.7%	22.5%
	セグメント利益	42 1.0%	396 9.5%	436 8.5%	924.3%	9.9%
合計	売上高	155,843	131,413	136,239	△12.6%	3.7%
	セグメント利益	6,242 4.0%	6,615 5.0%	5,353 3.9%	△14.2%	△19.1%

(注)：1. セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。
2. 「x.x%」は利益率を表します。

2024年3月期：セグメント別売上高（四半期推移）

売上高

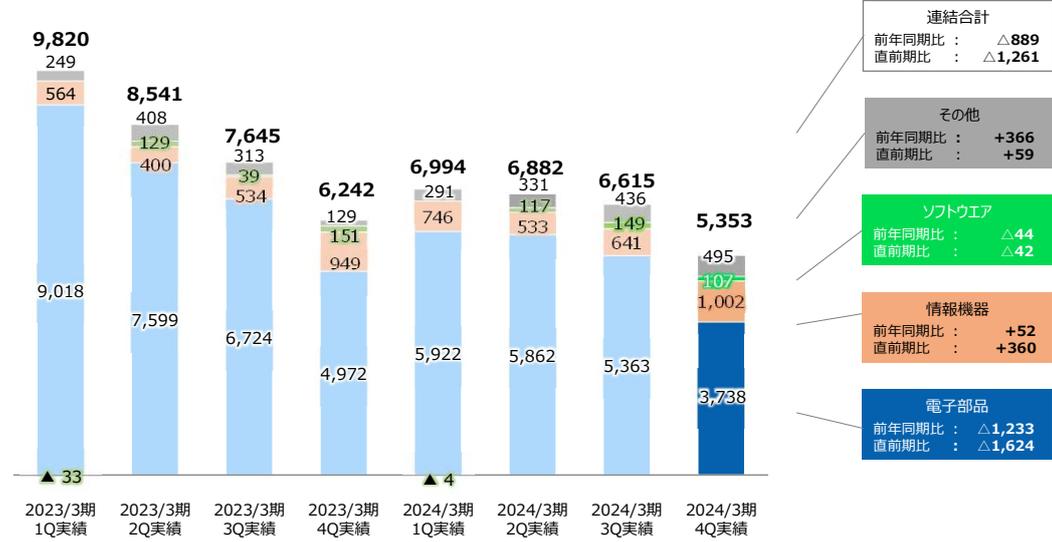
(単位：百万円)



2024年3月期：セグメント別営業利益（四半期推移）

セグメント利益・営業利益

(単位：百万円)

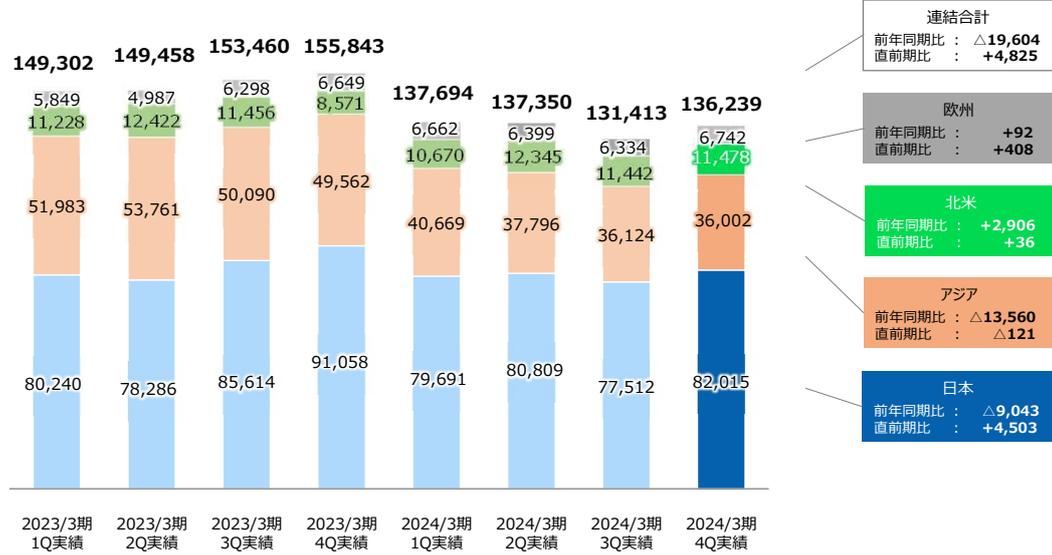


(注)：セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、連結合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

2024年3月期：地域別売上高（四半期推移）

売上高

(単位：百万円)



為替レート／為替感応度

	2023/3期 実績 (円)	2024/3期 実績 (円)	(参考) 1%変動による影響額 (百万円)		2025/3期 前提 (円)
			売上高	営業利益	
米国ドル	135.47	144.62	1,740	26	145.00
人民元	19.48	19.82	328	22	19.50
タイバーツ	3.84	4.11	282	18	4.00
香港ドル	17.28	18.48	177	3	18.50
ユーロ	140.97	156.80	7	0	155.00

『すべてはお客様のために』



問合せ先：IR・広報部

〒101-8629 東京都千代田区神田松永町20番地

TEL:03-5657-0106

FAX:03-3254-7133

E-mail : webmaster@taxan.co.jp

<https://www.taxan.co.jp>

私からの、2024年3月期の決算概要説明は以上となります。
御視聴、誠にありがとうございました。

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

■ 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て

比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入